

家庭での防災学習の進め方

- 【学習のねらい】・児童生徒と保護者が家の中の防災対策を話し合う。
・被害を最小限に食い止めるため家族で話し合っておくことの大切さを理解する。

■ 防災デジタルワークの配布

ロイノートや同等のアプリを活用し、家庭学習用のデジタルワークを配布する。

■ 非常持ち出し品をチェックしよう

家庭で準備している非常持ち出し品を品目ごとに撮影、それぞれの数と消費期限を記入し内容を把握させる。

どのような場面でどのような使い方をするかを考える。



■ 部屋を安全にしよう

家庭内で行っている、防災対策を撮影させ張り付けさせる。

(例：家具固定、転倒防止、窓ガラス飛散防止シート)



■ 避難マップをつくろう

学校から自宅までの通学路を含む地図をスクリーンショットし張り付けさせる。それぞれが危険だと考える箇所をチェックさせる。

中学生以上はMyまっぷラン+や重ねるハザードマップなどを活用し自分の周囲にどのような危険があるかを考えさせる。



Myまっぷラン+
<https://mmrp.midimic.jp/mmrp/>



重ねるハザードマップ
<https://disaportal.gsi.go.jp/maps/>

家庭での防災学習の進め方案

【学習のねらい】・児童生徒と保護者が家の中の防災対策を話し合う。

・被害を最小限に食い止めるため家族で話し合っておくことの大切さを理解する。

■ 家族の約束事

家族の居る時間の多い場所・避難先・避難した後の行動を話し合い書き出させる。

いざという時にどのような行動を取るべきかを考えさせる。

家族の約束事
例えば、平日の夜間、大規模な地震とき、居る場所からの避難は必ず行わなければならないかもしれないけれど、家族で家族の居る時間の多い場所や避難先を話し合っておきましょう。ワークシートに記入しましょう。

家族	居る時間の多い場所	避難先	避難した後
お父さん	大塚	大塚の公民館	避難場所の住所まで帰る。
お母さん			
お兄さん			
お姉さん			
お弟さん			
お妹さん			

家族と話し合ったことをここに

■ 紙食器をつくってみよう

新聞紙などを利用し折り紙の要領で簡易的な紙食器をつくらせる。作成した食器を写真に撮ってワークシートに張り付け提出させる。

紙食器をつくってみよう
新聞紙などを利用して簡単に紙食器をつくってみよう。2人1組でやる。写真も撮ることを忘れず。

作った食器を撮影し、下の写真に貼り付けよう。

■ 作って食べよう！「サバイバル・メシタキ」

アルミ缶を利用し簡易的な炊飯器を作り、米を炊いてみる。作ったコンロと米を写真に撮ってワークシートに張り付け提出させる。

※火を使うので家族と一緒にやるよう指導する。

作って食べよう！「サバイバル・メシタキ」
アルミ缶を使って簡単に炊飯器を作り、米を炊いてみよう。写真も撮ることを忘れず。

【準備品】 コップ（500ml）・・・2個 コップ（300ml） 箸（1本） 新聞紙（1枚）・・・数枚
アルミ缶（1個）

作った食器を撮影し、下の写真に貼り付けよう。

■ 自分でできる応急手当

様々なケガの種類への対応を音読させ理解させる。家族と話し合い、感じたこと自分にできることを記入し提出させる。

自分でできる応急手当
児童でできる応急手当の知識を身に付けよう。

応急手当	応急手当の方法	応急手当の方法	
止血	出血がひどい場合は、清潔な布で圧迫し、止血させる。	止血	出血がひどい場合は、清潔な布で圧迫し、止血させる。
火傷	火傷した場合は、流水で冷やして、患部を清潔に保つ。	火傷	火傷した場合は、流水で冷やして、患部を清潔に保つ。
骨折	骨折した場合は、患部を固定し、患部を清潔に保つ。	骨折	骨折した場合は、患部を固定し、患部を清潔に保つ。
嘔吐	嘔吐した場合は、顔を横に向け、清潔な布で拭き取る。	嘔吐	嘔吐した場合は、顔を横に向け、清潔な布で拭き取る。
目撃	目撃した場合は、目を洗い、清潔な布で拭き取る。	目撃	目撃した場合は、目を洗い、清潔な布で拭き取る。

見つかったことや自分のできることを書き出そう。

■ 防災デジタルワークの提出

ロイノートや同等のアプリを活用し、作成したワークシートを担当教員に送らせる。

保護者との対話を通じて家庭内で防災意識を高めるよう働きかける